

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和6年4月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
1	<p>学校間の施設・設備の差が教育環境の格差につながると考えるが、本市の老朽化対策を含む学校の施設・設備の整備方針について聞きたい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「学校施設については、中長期的な整備計画となる「大分市教育施設整備保全計画(平成28年5月策定)」に基づき、老朽化対策を含めて大規模改修を行っており、施設の築年数や維持管理コスト等を総合的に勘案し、整備している。」との回答を受けました。</p>
2	<p>奨学金制度のあり方など、就学に関する施策を検討してはどうか。</p>	<p>市教育委員会から、「人口減少や少子高齢化等の社会課題の対応策の一つとして、大学等に進学した学生が、卒業後一定期間、本市に居住又は市内の事業所等に就業することで、奨学資金の返還を免除する新たな奨学資金制度の導入に向け取組を進めている。この制度を導入することで、進学を志す学生の経済的な負担を軽減し、卒業後に本市で活躍する人材の育成・確保を図っていく。」との回答を令和6年3月に受けました。</p> <p>令和6年4月から新たな奨学資金制度が導入されているため、本委員会としては、奨学資金制度に関する市教育委員会の取組を注視していきます。</p>
3	<p>子供のよりよい教育環境のために、通学環境や既存の学校の存続等を考慮することが重要と考えるが、見解を聞きたい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「本市の小中学校の適正配置については、令和4年2月に策定した「大分市立学校適正配置基本方針」に基づき、保護者や地域住民と十分に協議を行いながら、本市の実情に応じた適正配置の取組を進めることとしている。現在、小規模校及び大規模校ともにそれぞれの規模によるメリットを最大限に生かし、教育上の課題を緩和する様々な取組を進めているところであり、適正配置の方策を実施することは、児童生徒の学習面や生活の環境面等に大きな影響を与えること、また、同時に、学校は地域コミュニティの拠点としての役割を担っていることから、地域活動への配慮も重要であり、慎重に検討する必要があると考えている。」との回答を受けました。</p>